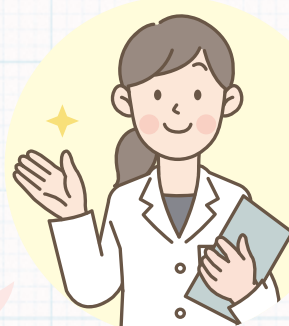


学校医から

学校医は、日頃から子供たちの健康管理、感染症対策などに取り組んでいるほか、定期健康診断に関しても、内科検診や脊柱側弯症検診などを行っています。

健診では、プライバシーに配慮し、医師、看護師、養護教諭、担任が連携して診察にあたっています。聴診器による診察（聴診）は、心雑音や不整脈、肺雑音などを発見するために非常に大切です。必ず地肌の上に聴診器を当てて診察する必要があります。年頃になってくると気恥ずかしく抵抗を感じるかもしれませんが、医学的に必要な診察を真摯に行っているのです、協力をお願いします。



市学校保健会 会長
林 佳代さん

保健室の先生から

健診結果は、生活習慣の見直しや学校生活に必要な支援や医療、相談につながる大切な手がかりになります。

保健室では、健診結果や来室時の様子などから、子供たちが健康に学校生活を送ることができるよう、最適な方法を考えています。子供たちはもちろん、保護者との対話も大切にしながら、「気になること」を一緒に整理しています。



古江台中学校 指導養護教諭
河野 由実子さん

学校自慢

Nice to meet you!

ナイス中ミ〜中

市内の中学生がPR



スローガン 百花繚乱

このスローガンには、高野台中学校の生徒の個性や才能が開花してほしいという思いを込めています。

後期生徒会執行部では、文化委員や各部活動と協力し、来年度高野台中学校に入学してくる小学6年生を対象としたオープンスクールを行いました。

また、昼食時に生徒同士の交流を図るため、全校生徒に音楽のリクエストを募るミュージックボックスの設置も行いました。

高野台中学校の中庭はとても緑豊かで、PTAによる木々への飾り付けなどによって四季折々の風景を楽しむことができます。中庭にある池では鯉を飼育しており、生徒が自由に餌やりをすることもできます。

部活動では、先輩・後輩の垣根を越えて、みんな仲良く活動しています。運動部では、他校の活動拠点となっている部もあり、試合などを通じて、他校との交流も盛んに行っています。



高野台中学校
ホームページ



学校健診のいま

小・中学校では、毎年1学期に学校での健康診断を行っています。児童・生徒が健康に学校生活を送るために、体の状態を知っておくのはとても大切です。

今回は、学校健診の現状を紹介します。

健診項目

身長・体重
成長の様子

耳鼻咽喉科健診
聴力検査

耳、鼻、のどの様子

運動器検診

四肢や運動器（骨、関節、筋肉など）に異常がないか

平成28年度から
新たに検診項目に追加



現代の子供は、運動する子としない子で二極化していると言われています。発達段階の子供の運動器は、過剰な運動や運動不足によって成長が阻害されることがあります。このため、運動器のけがや機能低下などを早く見つけて対処できるよう健診項目に追加されました。



眼科健診
視力検査

目の様子、見え方

近視予防を
心がけましょう！

10年前と比べると小・中学生ともに視力1.0未満の子供が約7%増え、約62%となっています。

近視の予防には、スマホやゲームなど近くのものを見続けないう注意し、外遊びなどで日光を浴びることが効果的です。

歯科健診

歯やあご、歯ぐきの様子

内科検診

心臓や肺、骨、皮膚の様子、栄養がとれているかなど

結核検診

結核の疑いがないか

尿検査

腎臓病や糖尿病がないか

え!? あの検査は
なくなったの？



座高測定

かつては内臓の発育などを確認するために行われていましたが、現代では、子供の成長を見るための指標としてほとんど活用されていないことから、平成28年度に廃止されました。

ぎょう虫検査

衛生環境が向上した現代の子供たちは、寄生虫の検出率が激減しているため、平成28年度に廃止されました。

年度	保有率
昭和34年度	21.8%
平成26年度	0.13%

67年前は、小学生の約5人に1人が寄生虫を保有していた

健診を安心して受けられる環境

■プライバシーや心情への配慮

服をまくり上げずに裾から聴診器を入れて当てる、他の児童・生徒に見えないようにするなど、各学校でさまざまな工夫をして健診を実施しています。特に配慮が必要な場合は、個別に相談を受け付けています。

■健診を受けられなかったときは？

学校で行う健康診断を受診できなかった児童・生徒は、7月1日～9月30日の間、学校医・学校歯科医の各医療機関で個別に健康診断を受診できます。